

# 高美だより

発行 高美小学校区まちづくり協議会

高美地区福祉委員会

編集 事務局長 木下 眞一



安全・安心のまち あたたかい、おもいやりのあるまち **高美**

## 新年のごあいさつ

高美地区にお住いの皆さま、新年あけましておめでとうございます。

今年は、私たちにとって良い年になるよう期待をもって新年を迎えたいと思います。昨年は一昨年同様にコロナウイルス蔓延に翻弄された年でありました。外出の自粛、施設の利用制限、集団活動の制限など、あたりまえの生活環境が一変しました。そんな中ではありますが年度後半になりコロナの感染状況が落ち着いたことで、三密を避け取り組めたこともありました。

既にお知らせしておりますが、旧高美幼稚園の跡地の整備が進んでおり、この4月から当地区の集会所として利用できるようになります。この施設を拠点としてより一層充実した活動を実行していく所存です。

最後に、今回から「高美だより」の配布を高美小学校区の全世帯に配布することといたしました。地域のみなさんに情報を発信し共有し、交換し、安心安全なまちづくりをめざしてまいります。

まちづくり協議会、福祉委員会にご理解とご協力をお願い申し上げます。

高美小学校区まちづくり協議会会長

高美地区福祉委員会委員長 竹村 征夫

## 八尾市社会福祉協議会設立70周年において下記の方々が受賞されました。

おめでとうございます。

### 表彰状

社協の運営・事業の発展に寄与、貢献された方

心配ごと相談員 福田 秀子さん

社協事業の実践に貢献された団体・グループ

高美地区福祉委員会

### 感謝状

各地区福祉委員会の事業に功労のあった方及び団体・グループ

竹本 弘子さん

大石 啓子さん

### 八尾市民福祉賞

見守り隊

## 安否確認の重要性

コロナ禍でもあり、思うような活動が出来なかったのですが、安否確認は、密を避けてできるので町会加盟の80歳以上の一人暮らしの方を対象として、11月28日午前9時から安否確認を実施しました。当日お顔を拝見し「お元気ですか？」と声をかける事です。16町会192名が参加頂きありがとうございました。

お声かけをいただいた町会長他には高美小学校の集会室に集まってお声かけの感想などを話し合っていました。

ではなぜ、安否確認が重要であるかと言いますと、30年以内に南海トラフの大地震が80%の確率で来ると言うことです。八尾市は震度6弱か6強の地震におそわれるといわれています。

これは木造家屋が倒壊する可能性があります。阪神淡路大震災を思い出して下さい、この時亡くなった80%以上の方が家具や家屋の倒壊による圧死です。

おそらくその方達もすぐに亡くなるのではなく家具に挟まって身動きが取れずに救助を求めて叫んでいたのではないのでしょうか？しかし一人取り残されてしまいました！生存率は72時間が限度です。誰にも看取られる事なく亡くなって行くのは切ない事です。こういう事がないように計画的・組織的に取り込んで行こうとしているのが、安否確認です。

まだ始めたばかりでなかなかうまくいきませんが、対象年齢をもっと広げることや要支援者を対象として継続的に取り込んで行きたいと思っています。

自主防災組織 松本 義幸



## 障がいのある人も無い人も共に生きる社会をめざして！

11月13日(日)午後から八尾市立総合体育館(ウイング)の会議室にて高美地区福祉委員会主催で「佐野満男基金障がい者支援啓発事業」の講演会が行われました。

上記のテーマにて、竹村会長の司会で始まり、大松八尾市長のあいさつ、大星市会議員のあいさつ(手話にて)がありました。定員58名の会議室に実に60名のご来席をいただき熱気の中で講演が始まりました。また、特記すべきは60名中20名が何らかの障がいをお持ちの方の参加でした。

具体的なテーマは、障がいのある人も、無い人も現在高齢化が進む中で直面している認知症の現状とその対応、特に認知障がい者の現状等々、を柴谷まさや講師の実際の現場を見据えた熱気に満ちあふれた講演でした。

最後には、涙を流される方もいらっやって、講演会は無事成功裡に終わりました。

従来このような講演会に障がい者のみなさん方が参加された例はありませんでした。特に今回は手話通訳者を4名入れての取り組みは今までにない画期的なものと思っています。地域役員、関係者をはじめとして積極的に協力いただいた結果であり改めてお礼申し上げます。

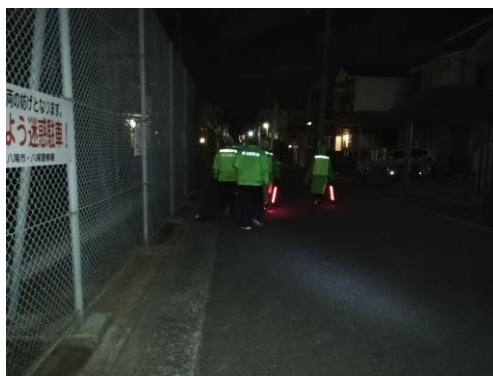
今後も障がい者共々皆様方と力を合わせて明るい地域社会を形成することを願ってご報告及びお礼と致します。

高齢者福祉部会副部長 出本 悦朗

## 夜間パトロール

青山4丁会では、高齢クラブ主体で毎月第2、第4土曜日に夜間パトロールを行っております。青山第二公園に20時に集合し、約30分ほどかけて回っています。毎回、約10人から15人ほど集まり、世間話などをしながら拍子木をたたいて火災予防などの啓発を行っています。また年末には町会と合同で歳末パトロールを行っています。

総務 西川 一男



## 健康教室

11月28日(日)午後から高美小学校の集会室において、八尾体育振興会の近藤勝一先生をお迎えし恒例の健康教室を開催しました。

毎日いきいきと元気で自立した生活を続けるためにも、転ばないことはとても大切なことなので、先生に転倒する予防の実技をご指導いただきました。

視野を広げる運動(目の健康体操)、運動前の準備体操からスクワットの正しいやり方まで、参加者に合わせて丁寧に教えていただき、身体を動かしながら楽しく学びました。

今回はコロナ禍のため、人数制限を行い1部、2部共に10名制で行いました。

例年のように、身体を動かした後にお茶を楽しむことができる日が来るのを楽しみにしています。

福祉部部长 大石 啓子

